

新しい片丘浄水場が完成し、 給水が始まりました。

既存の片丘浄水場は、築造後59年が経過し、施設の老朽化や機能低下が著しく、耐震性も劣ることなどから、浄水場の移設、更新事業に着手しました。

浄水場の更新にあたりましては、標高の高い場所へ移設することとし、平成23年12月に浄水場の築造工事に着手、本年9月に完成したことから、通水式を執り行い、10月下旬から給水を行っています。

浄水方法は、環境にやさしい緩速ろ過方式を採用し、また、標高の高い場所へ移設したことで、水道水の供給を自然流下方式へ転換し、ポンプ施設の削減など供給コストの低減、省エネルギー化、ライフサイクルコストの低減など、水道システムの最適化を図ることとしました。

そのほか、浄水能力など機能強化、施設の耐震化や給水区域の拡大など、災害や事故に対するバックアップ体制の強化を行いました。

なお、片丘浄水場移設更新事業の取り組みは、平成21年度から平成27年度、全体事業費は、11億8,900万円余を予定しています。

普通沈殿池



▲ゆっくりと時間をかけて砂やゴミを沈めます。

片丘浄水場通水式



▲平成26年9月9日の通水式の様子

かんそく
緩速ろ過池



▲表層にできた生物膜でろ過し、細かいごみや細菌などを取り除きます。

おしえて!
ぶんちゃん 嶺ちゃん

ねえ、分ちゃん!
何で、「新片丘浄水場」をつくったの?

今までの浄水場は、約60年近く使っているから、機械の故障や地震があると水道施設が壊れて、水がつかれなくなる心配があったんだ。

「新片丘浄水場」はどんな方法で水をつくるの?

「かんそく緩速ろ過方式」と言って、細かな砂の層に4~5m/日のゆっくりとした速さで水を通して、水の中にある小さなごみや汚れを取り除いて、きれいにする方法だよ。この方法は、安全でおいしい品質の高い水をつくることができ、環境にもやさしいんだ!

それで、「新片丘浄水場」は何が良くなったの?

一日につくれる水の量が、今までの約2.7倍の900m³になったんだ! 標高の高いところに施設を移設させたから、ポンプを使わなくても配水ができて、電気代などの維持管理にお金がかからなくなったよ! それに施設の耐震化で、地震があっても大丈夫だしね!

そんなにすごい施設が整備されていたんだね!
最近、地震や災害が多くて不安だったけど、安心したよ!
分ちゃんありがとう!

分ちゃん嶺ちゃんからのお願い
凍結防止対策をしっかりと!

寒くなったね。これからの季節は、水道管が凍結するから、しっかり凍結防止対策をしないと大変だよ! 水道管が凍結すると、水が出なくなるだけでなく、修理の費用がかかってしまうからね。

●凍結防止の3つのポイントを教えるね!

- ① 凍結防止帯を取り付けよう。
- ② 不凍栓を閉めよう。
- ③ メーターボックス内に、発泡スチロールなどを詰めたビニール袋を入れて、メーターを保温しよう。

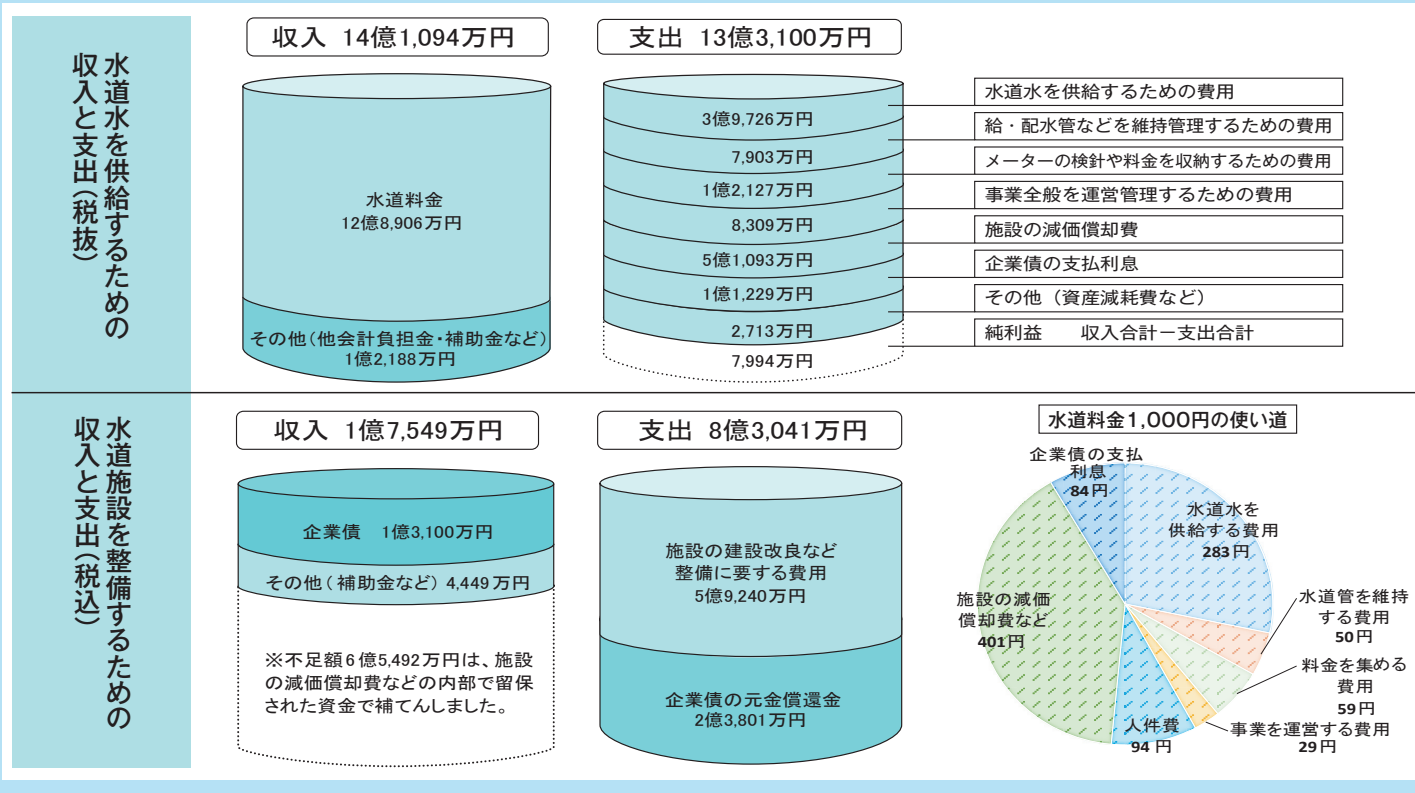


○ 水道事業の経営状況(平成25年度決算)

事業運営については、安全でおいしい水道水の安定供給や、災害に強い水道を目指し、水道施設の機能維持と増進に取り組みました。

事業収益については、給水人口の減少や節水型ライフスタイルの進展などにより、給水収益は減収となりましたが、減価償却費や、企業債の繰上償還の効果による支払利息の減額、業務の効率化などにより事業費用が減額したことから、収支差引で7,994万円の純利益となりました。この純利益は、将来の大規模な施設の整備に備え、建設改良積立金に積み立てました。

今後、人口減少社会を迎え、給水収益が減収するなかで、浄水場など施設の大規模な更新や改築、耐震化などを控えていることから、経営の健全化に配慮した計画的かつ効率的な事業運営に努めていきます。



○ 下水道事業の経営状況(平成25年度決算)

事業運営については、安全で快適な住環境の創出、河川など公共用水域の保全などを目的に、持続可能な下水道を目指し、下水道施設の機能維持と増進に取り組み、不断の下水処理に努めました。

事業収益については、水洗化人口の減少や節水型ライフスタイルの進展などにより、下水道使用料は減収となりましたが、一般会計からの繰入金増額や、企業債の繰上償還の効果による支払利息の減額、業務の効率化などにより事業費用が減少したことから、収支差引で6,264万円の純利益となりました。この純利益は、企業債償還の財源に充てるため、減債積立金に積み立てました。

今後、多額な企業債の借入れによる償還、浄化センターなど施設の大規模な改築や耐震化などを控えていることから、経営の健全化に配慮した計画的かつ効率的な事業運営に努めていきます。

